

金曜日は避難訓練の話をしました。今週のどこかで訓練があるので、真剣に取り組んでくださいね。阪神淡路大震災以降、大災害の被災地で活動したボランティアののべ人数は少なくとも480万人以上になります。どの災害でも1万人をこえ、文化として根付いてきました。発生場所が大都市から離れていたり、被害が広い範囲だったりする場合はボランティアの不足が見られ、災害や地域の違いで受けられる支援の差をなくす工夫が大切になっています。

1995年に起きた阪神淡路大震災の被災地では、直後から炊き出しや支援物資の分配を担い、1年間で130万人以上が活動しました。その後も仮設住宅や復興住宅での見守りに携わり、約5年で200万人以上が活動しました。

1995年は「ボランティア元年」と言われ、この年以降、災害のあった地域には、災害ボランティアセンターを設置して希望者を受け付け、支援が必要な場所に派遣する仕組みができました。ですから、まだ地域での格差はありますが、今はボランティアをして欲しい地域の要望がしっかりとまとまり、ボランティアをしやすい環境になってきました。困っている人から「ありがとう」と言ってもらえる体験はきっとみなさんの成長につながります。みなさんも大きくなっ

たら、ぜひボランティアに参加してみてください。ただし、避難訓練でもそうですが、今のみなさんにとって一番大切なことは、自分の身を自分自身で守ることですので、そのためにどのような行動をしなければならないかをしっかりと考えてください。

ところで、土曜日と日曜日には大学入学共通テストが行われました。今は半分以上の人が大学に進学するようになっています。みなさんの中にもいずれ関係のある人がたくさんいると思うので、どんなテストだったのかを興味を持ってもらったらと思います。